

JSAF2016 年冬派遣生の皆さん

今学期でプログラムを終了予定の皆さんに、帰国前注意事項について E メールをお送りしてあります。

これから来月にかけて期末試験・レポートに向けて忙しくなりますが、帰国前に必要な重要手続き、注意事項がありますので、皆さん必ず最後まで読み漏れの無いよう確認して下さい。

【帰国前確認事項】

1. 最終留学レポートについて（使用するファイルは個々へのメールに添付していますので、参照してください。）
2. 成績証明書の手配について（Official Transcript）
3. 退寮手続きについて
4. 保険期間の確認・延長手続きについて
5. 帰国前の予定をお知らせください（旅行など）
6. その他

◆◆◆◆◆◆ ①最終留学レポートについて（全員提出） ◆◆◆◆◆◆

4月27日(水)までに提出して下さい。添付ファイル（ワード）の書式にそのまま入力してください。

成蹊大学をはじめ認定留学の場合には、大学への報告と認定手続きに非常に重要な書類となりますので、必ず規定ページ数を満たした状態で提出をお願いします（最低 5～6 ページ。）規定ページ数に満たない場合には、差し戻しとなり、書き直しをして頂きますのでくれぐれもご注意下さい。

この留学レポートは、これから留学をする後輩派遣生のためだけでなく、留学生生活を振り返ることで自分自身にとってもその意義と成長を実感できる時間になります。

皆さんの素晴らしい留学体験をこのレポート提出で締めくくって頂きたいと思います。

※留学レポート未提出者には、JSAF からの修了書が交付できません。期末試験が始まるとなかなか時間を取ることが難しくなりますので、今から少しずつ書き進め、期日までに提出を済ませて下さい。

※JSAF のホームページにレポートは匿名で掲載されます。

◆◆◆◆◆◆ ②成績証明書（Official Transcript）（全員提出） ◆◆◆◆◆◆

留学先大学での成績証明書(Official Transcript)を 1 部 JSAF まで必ず郵送してください。これは皆さんご自身で発行手配が必要です。帰国前に忘れず手配・依頼を行ってください。その際、**最終学期の成績まで反映されたものを依頼するようにして下さい。**全ての成績が反映されるのはいつ頃になるのか、現地からの発送予定時期と一緒にインターナショナルオフィスにて各自確認して下さい。

【必要枚数】：JSAF 送付用（高田馬場オフィス宛て）1 通 ※必須

その他、日本の大学用（認定留学の場合など）と自分用には発行依頼をしておきましょう。帰国後の発行依頼・問い合わせには時間がかかります。

※スチューデントアカウントに未払い金があると成績証明書の発行ができません。帰国前に必ず自分のスチューデントアカウントを確認し、個人負担の費用は清算を済ませて下さい。

※留学レポート同様、成績証明書未提出者には、JSAF からの修了書が交付できません。

※在籍大学の認定手続きに必要な派遣生は、成績証明書発行時期を確認の上、正しい住所（番地の記入漏れのないように）を伝えるようにしてください。

◆◆◆◆◆③退寮手続きについて◆◆◆◆◆

退寮手続きを必ず済ませて下さい。

各大学で必要な手続きがありますので、Housing Office にて事前に手続きと期日を確認して下さい。

忘れた場合や期日を過ぎてからの手続きには延泊料金・違約金が発生します。この費用は個人負担の費用となりますので、各自責任を持って所定の手続きを済ませて下さい。

特にこれからの時期は派遣先大学の E メールアドレス宛にも重要なメールが届く場合がありますので、毎日確認して下さい。

既に完了報告をしている人を除き、退寮手続きを終えた派遣生は JSAF へ完了報告をして下さい。

◆◆◆◆◆④保険期間について◆◆◆◆◆

◎JSAF にて AIU 保険に加入している派遣生

まずは出発前にお渡しした AIU 保険期間を保険証・英文保険証明書で確認してください。

この期間を越えて滞在する場合には、保険の延長手続きが必要です。（保険は一度切れてしまうと再加入できません）該当する派遣生は帰国予定と合わせて報告して下さい。

保険は、現地を出発する日ではなく、日本到着日まで加入が必要です。1 日不足していたということの無いようご注意下さい。

（たった数日でも、日本帰国までカバーされるように保険をかけておかないと、いくらこれまで保険料を払っていても、何かけがをしたり、病気になったり、帰国便にトラブルが発生したりした場合は、一切補償されません。）

例) 保険期間 2015 年 12 月 24 日まで

帰国便 2015 年 12 月 24 日現地発、翌日 25 日 DL 294 便にて ニューヨークより日本到着予定 ⇒**保険の延長手続きが必要**です。(1 か月単位)

◎在籍大学指定の保険に加入している派遣生

上記同様、保険期間を越えて滞在する場合には、保険の延長手続きが必要です。

加入している保険会社・在籍大学に直接お問い合わせください。

◆◆◆◆◆⑤帰国前の予定をお知らせください（旅行など）◆◆◆◆◆

日本への帰国便、帰国前のスケジュールを報告してください。

・帰国予定日

・フライト情報（日程、便名、経由地）

例：5/20 DL004 便 JFK 8:30AM 発 翌日 4:00 PM 成田着

また、学期終了後に旅行など、しばらく現地に滞在予定の派遣生は、以下について連絡して下さい。

①退寮後の旅行期間（複数ある場合はそれぞれの日程）

②滞在先住所と連絡先（ホテル名と連絡先、知り合いの家に滞在する場合はその人の名前を含む）

③同伴者

④旅行の場合は詳しい移動方法（飛行機/バスのスケジュールなど）

⑤保護者の同意を得ているか

※中東、トルコ、ヨーロッパの危険情報の発令されている地域、アジア圏を含めた全イスラム教の強い国、危険情報の発令されている南米地域への渡航および全行程スケジュールの決まっていない旅行は、引き続き禁止です。

※【注意!!アメリカ派遣生対象】

ビザの有効期限内であっても、最終学期の期末試験終了後にアメリカ国外へ出国した場合には、その時点でビザは失効します。

次学期の滞在資格がありませんので、インターナショナルオフィスでサインをもらっても再入国はできません。

そのため、アメリカを出国後に ESTA 登録を行い、観光目的で再入国をして下さい。この点、手続きを誤ると再入国できなくなりますので、くれぐれもご注意下さい。

また、以下注意事項も必ずお読みください。

■ 注意情報（確認） ■

①現在の滞在先（寮またはホームステイ先）を離れる時には最新情報の収集に努める

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>

U.S. Department of State, the Bureau of Consular Affairs Travel Alerts and Warnings:
<http://travel.state.gov/content/passports/en/alertswarnings.html>

GOV.UK Foreign travel advice: <https://www.gov.uk/foreign-travel-advice>

②不特定多数が参集し、テロの可能性があるとされる施設（政府・軍・警察関係施設、公共交通機関の駅、観光施設、スタジアム、大型スーパーマーケット、パブ、ディスコ、ロックやラップのコンサート会場、ゲームセンター等の遊興施設等）は可能な限り避け、訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、滞在時間を短くする。

③不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる

④不測の事態が発生した場合に備え、ご家族や大学（担当者）との間で緊急連絡先を再確認してください。

・各留学先で不測の事態が発生した場合には、JSAFから皆さんの緊急連絡先（携帯電話・Eメール）、各留学先担当者まで安否確認を行います。緊急時の速やかな状況確認のため、皆さんからも①JSAF②日本のご家族③日本の在籍大学へ連絡を入れて下さい。

・日本からの着信を常時受けられるよう、携帯電話の設定を確認して下さい。また、留守番電話にメッセージを残せるよう必ず設定を行って下さい。

⑤万が一爆破事件等に遭遇した場合には、現地の日本国大使館又は総領事館に至急連絡を入れる。

⇒3か月以上滞在する方は、緊急事態に備え必ず在留届を提出する

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>)

※利用する全てのフライト（接続便を含めて）情報を連絡して下さい。（旅程表やEチケットからコピー&ペースト可。）

※その他の交通機関を使う場合はその情報もお知らせ下さい。

※フライト予約時のコンピューターの画面のコピーペーストを行う場合は上記の情報のみを貼りつけてください。

※旅行中、旅程に変更が生じた場合は、すぐにJSAFにメール（support@japanstudyabroad.org）にて連絡してください。

※旅行中は、ショートメッセージでもかまいませんので、できるだけ、日本に連絡するようにしてください。

※旅行中も、定期的にEメールはチェックしてください。

※旅行中は、AIU保険ブックレット（JSAFにて加入している場合、赤い冊子）と緊急連絡カードを持参するようにしてください。

※危険な地域には、立ち寄らないようにしてください。また、夜は、公共交通機関よりもタクシーを利用するようにしてください。

※車やバスを利用する場合は、必ず、シートベルトを着用するようにしてください。（特に後部座席に座る場合、まだ日本では、シートベルトをしない習慣がありますので、ご注意ください。）

※派遣中は、車の運転は禁止されています。

※友人が運転する場合は、適切な休憩を取るようご注意ください。

※降雪がある場合は雪や路面凍結には、十分に注意してください。

※**パスポートを含む貴重品管理には十分に気を付けるようにしてください。**

※貴重品紛失や盗難にあった場合は、すぐに警察に届けてください。

※万が一怪我や病気をしたり、事件や事故に巻き込まれてしまった場合は日本アイラックのサポートデスクにご連絡ください。

【重要】アイラックサポート期間は、最終試験日の翌日までです。それ以降の緊急時は、加入海外保険のアシスタンスサービスに連絡してください。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆⑥その他、確認事項 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

外務省への帰国届け（到着後に設定したパスワードとハンドブックの在留届のページを参照してください）

銀行口座精算（該当者。現地で口座を開設している場合。）

寮の片付け

短い間ですがお世話になった部屋ともお別れです。きれいにして退出しましょう。

鍵の返却はルールどおりに。違約金を取られてしまいます。荷物も早めに日本へ送り返しましょう。（必ず保険をかけて）

お世話になった人にお礼

留学を支えてくれた人々に帰国のお知らせをありがとうの気持ちをこめて。これからも末永いおつきあいが続きますように。

では、帰国前の注意事項を確認の上、分かっているものから随時返信下さい。